

地域公共交通確保維持改善事業の実施状況について

(3) 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

常陸大宮市地域公共交通会議

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

協議会名:常陸大宮市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>1. 調査等の概要</p> <p>(1)調査目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の日常生活における移動実態や公共交通の利用状況を調査し、現在の常陸大宮市の地域公共交通の問題点・課題などを把握し、地域公共交通網の再編に向けた検討材料とした。 <p>(2)調査対象及び調査方法</p> <p>①市民アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常陸大宮市民を対象として、移動実態や公共交通のあり方などについて調査した <p>②公共交通利用者アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通モード別(市民バス、乗合タクシー、鉄道)に利用者を対象として、利用の実態やニーズ等を調査した。 <p>③高齢者アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老会等の高齢者によるイベント参加者を対象として、移動実態やニーズ等を調査した。 <p>④事業者等ヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者や商業施設、学校などの関係者を対象として公共交通に対する要望・ニーズ等についてヒアリングを行った。 <p>⑤市民グループインタビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に交通弱者を対象として、日常の外出行動や日常の外出で困ること、公共交通に対する改善要望などを、より具体的に聞き取った。 ・基本的に5地域毎(大宮、山方、美和、緒川、御前山)に1グループ、1回の開催とした。 <p>2. 調査結果の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の買い物や通院の目的先は大宮地域が多い。また、市外への移動は水戸市が多い。 ・市内の人口が散在していることから、人口が集中しているところとそうでないところで、運行する交通モードの適切な役割分担をする必要がある。 ・公共交通に対する市民の考えとしては、将来的には必要と感じている割合が非常に高い。一方で、今後公共交通を維持していくためには見直しが必要なことについて理解を示している。 ・市民バスと乗合タクシーは主に通院時に利用され、次いで買い物の際に利用されている傾向。 ・市民バスの運行を維持するために有料化することについて、おおむねの理解が示された。 ・市民バスの運行車両が分かりづらい、運行内容が分かりづらいなどの意見があった。 ・乗合タクシーの運行内容の充実の声が聞かれた。 	<p style="text-align: center;">A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>これまでに認識していた課題(市民バスと路線バスの路線重複、利用者の減少、財政負担の増加)や今回の調査で把握した課題(利用者ニーズへの対応、利用しやすい環境整備、公共交通の周知徹底の必要性)に対応すべく、</p> <p>「～いつまでも誰もが安心・便利に利用できる公共交通～</p> <p>地域内外の交流を通じて、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通網」を目指す公共交通の将来像とし、次の点を踏まえ地域公共交通網形成計画を策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に掲げる市の将来像「人が輝き 安心・快適で活力と誇りあふれるまち」の実現を目指し、公共交通が都市中心拠点や地域拠点・交流拠点をつなぎ、まちの活力や魅力の創出を推進する役割を担う。 ・市民の日常生活を支えつつ、地域への来訪を促進するため、地域特性やニーズに対応した公共交通ネットワークを構築する。 ・市民、交通事業者、行政が密に連携し、情報や課題を共有した上で役割を分担し、主体的な取組を行いつつ、学校、商業施設、企業等との協働により、地域全体で公共交通を支える仕組みを構築する。

平成29年度 常陸大宮市地域公共交通会議 (茨城県常陸大宮市) (地域公共交通調査事業)

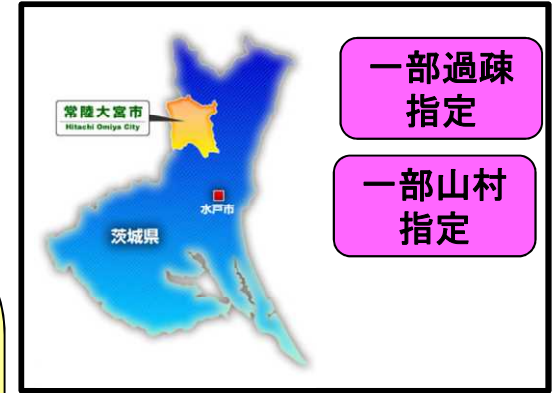
概要

○公共交通の概況

常陸大宮市は、県都水戸市(水戸駅)と福島県郡山市(郡山駅)を結ぶ鉄道(JR水郡線)が運行されているほか、路線バス、市民バス、乗合タクシーが運行されている。路線バスは、市内を運行する路線と水戸市へ向かう広域路線を茨城交通(株)が運行しており、那須烏山市と美和地域を結ぶ広域路線を那須烏山市が運営主体となって運行している。また、市では、無料で利用できる市民バスとして、大宮地域、山方地域、美和地域、緒川地域、御前山地域の各地域内を循環する路線と大宮地域と各地域間を結ぶ路線の他、小瀬高校への通学路線と温泉・温浴施設を循環する路線を運行している。乗合タクシーは、市社会福祉協議会が運営主体となり、自宅や指定の場所から目的地まで、市内全域での移動が可能な交通サービスとして運行している。

このように市民の生活交通を確保するために、様々な取組を行ってきた一方で、公共交通を取り巻く環境は厳しく、人口減少・少子高齢化の進行に伴う利用者ニーズの変化や市の財政負担の増加、バス路線の重複などの課題がある。

これらの課題を解決するとともに、地域の実情に合った持続可能な公共交通網の構築するため、地域公共交通網形成計画を策定することとしている。



面積	348.45 km ²
人口 (H29.4.1時点)	41,637人
15歳未満	4,287人
65歳以上	14,357人
高齢化率	34.5 %
世帯数	16,065世帯

計画策定調査の必要性

市が運行している無料の市民バスは、交通空白地域の解消には一定程度寄与しているものの、高齢化などによる影響から、利用者は減少傾向にあるため、効率性の観点から必要に応じて運行の見直しを行ってきたが、依然として利用者は少ない状況である。

また、路線バスと市民バスの一部路線の重複や市の財政負担の増加などの課題に対応する必要がある。

このようなことから、市内の公共交通網の一体的な再編を見据えて、効率性を勘案しながらも、地域の実情に即した、地域にとって望ましい持続可能な公共交通網を構築するための検討が必要とされるため、地域公共交通を取り巻く現状・課題を整理するとともに、市民の移動実態や公共交通に対するニーズを把握することを目的にアンケートやヒアリング調査を実施する。

協議会開催状況

○協議会の開催状況 3回開催

- ・第1回(平成29年7月14日)
調査事業の実施について
- ・第2回(平成29年12月22日)
調査結果報告、公共交通網再編(案)について
- ・第3回(平成30年1月25日)
地域公共交通網形成計画(案)について

調査の内容

1. 地域公共交通現状把握

地域や公共交通に関する基礎データの収集(人口の分布や推移, 市内主要施設の分布, 各公共交通の利用者数や経費の推移 等)

2. 住民アンケート調査・グループヒアリング

- ①市民アンケート調査: 常陸大宮市民を対象として, 移動実態や公共交通のあり方などについて調査した
- ②公共交通利用者アンケート調査: 交通モード別(市民バス, 乗合タクシー, 鉄道)に利用者を対象として, 利用の実態やニーズ等を調査した。
- ③高齢者アンケート調査: 敬老会等の高齢者によるイベント参加者を対象として, 移動実態やニーズ等を調査した。
- ④事業者等ヒアリング: 交通事業者や商業施設, 学校などの関係者を対象として公共交通に対する要望・ニーズ等についてヒアリングを行った。
- ⑤市民グループインタビュー: 主に交通弱者を対象として, 日常の外出行動や日常の外出で困ること, 公共交通に対する改善要望などを, より具体的に聞き取った。基本的に5地域毎(大宮, 山方, 美和, 緒川, 御前山)に1グループ, 1回の開催とした。

3. 新たに導入又は改善する地域公共交通の検討

- ・無料の市民バスの有料化, 再編について
- ・乗合タクシーの運行内容の充実について

4. 地域公共交通会議の開催

(7/14) 第1回: アンケート・ヒアリング調査について協議

(12/22) 第2回: 調査結果を踏まえた公共交通網の再編の方向性について協議

(1/25) 第3回: 公共交通網の再編を踏まえて実施する関連施策について協議(網形成計画の原案について協議)

(3月中旬予定) 第4回: 地域公共交通会議での網形成計画の最終的な承認

調査事業の結果概要

- ・市民の買い物や通院の目的先は大宮地域が多く, また, 市外への移動は水戸市が多い。大宮地域への移動手段や水戸市へ向かう公共交通に接続する移動手段の確保が必要。
- ・市内の人口が散在していることから, 人口が集中しているところとそうでないところで, 運行する交通モードの適切な役割分担をする必要がある。
- ・公共交通に対する市民の考えとしては, 将来的には必要と感じている割合が非常に高い。一方で, 今後公共交通を維持していくためには見直しが必要なことについて理解を示している。
- ・市民バスの運行を維持するために有料化することについて, おおむねの理解が示された。
- ・市民バスの運行車両が分かりづらい, 運行内容が分かりづらいなどの意見があった。
- ・乗合タクシーの運行内容の充実の声が聞かれた。

生活交通ネットワーク計画等の計画策定の方針

- ・地域の実情に即した, 地域にとって望ましい持続可能な公共交通網を構築するため, 今回収集した基礎データやアンケート等を有効に活用し, 各交通モードの役割を明確にしたうえで, 地域特性を踏まえた市民バスや路線バス, 乗合タクシーの見直しを行うとともに, まちづくりの方策と連動した公共交通網を構築する。
- ・公共交通の利用環境の改善や公共交通に関する積極的な情報提供・発信を行うことで, 利用しやすい公共交通を目指す。
- ・公共交通を将来に渡り維持・確保していくため, 様々な連携により利用促進策などを推進し, 地域全体で公共交通支える仕組みづくりに努める。

次年度以降の取組概要

平成30年度:

今年度策定する地域公共交通網形成計画の実現に向けた, 地域公共交通再編実施計画を策定する。計画策定にあたり, 交通事業者との調整や再編にかかる具体的なニーズ調査, グループヒアリング等を行う。

平成31年3月:

再編実施計画の策定後, 国へ計画の認定申請や必要に応じて許認可等の手続を行うとともに, 市民に対して再編内容を速やかかつ丁寧に周知・説明する。

平成31年10月～(想定):

再編開始

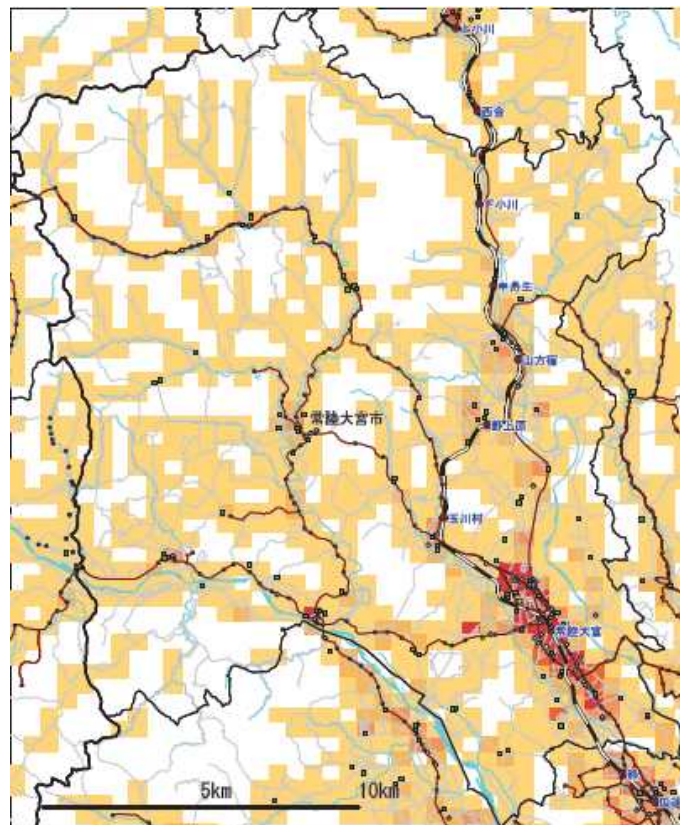
(常陸大宮市地域公共交通会議)

○添付資料一覧

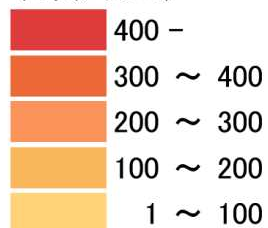
常陸大宮市人口分布図	1
常陸大宮市区域図	2
地域公共交通のイメージ（再編前後）	3
再編前後の運行サービスの比較	4
地域公共交通利用状況	5
市民バス・乗合タクシーご利用ガイド	別添
新路線バス路線図・時刻表	別添
常陸大宮市地域公共交通網形成計画（案）	別添

常陸大宮市人口分布図

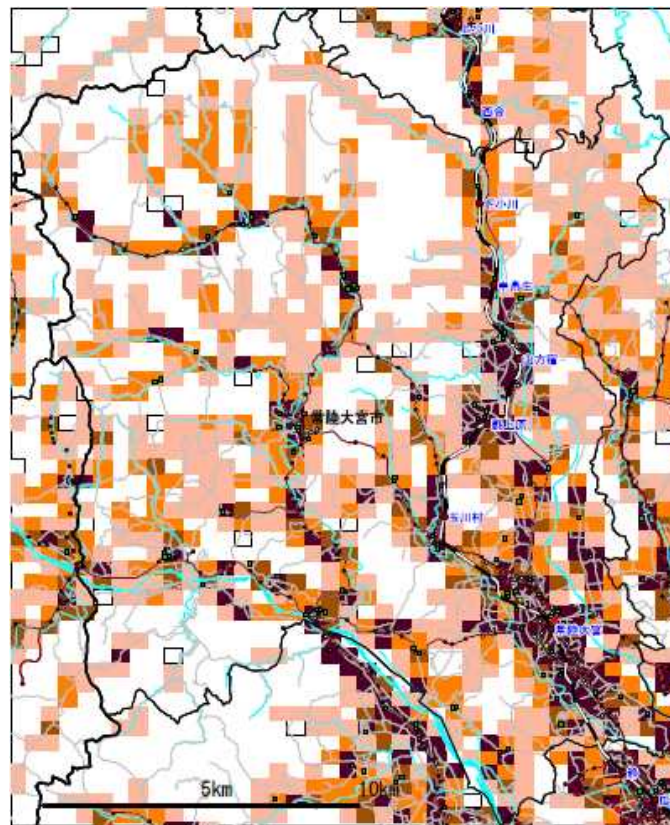
1. 全年齢人口分布図



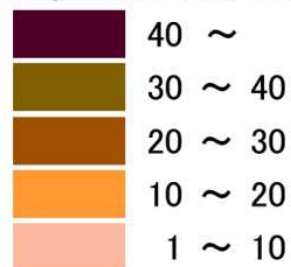
H22国勢調査人口(人)
(4次メッシュ)



2. 高齢者人口分布図



65歳以上人口(人)



凡例

- 鉄道駅
- 鉄道
- ◆ バス停
- バス路線
- 道路
- 河川等

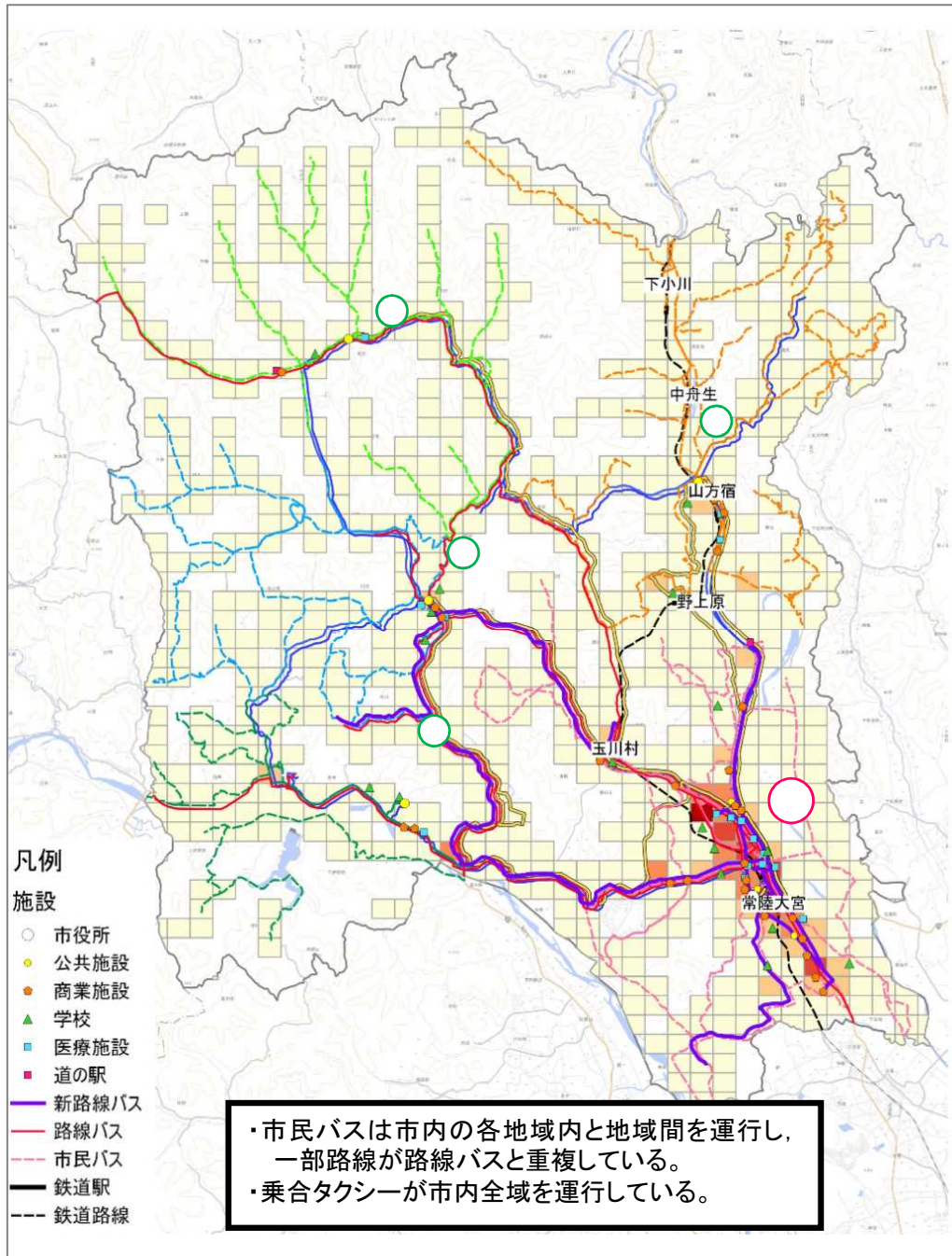
- ◇ 役所・役場
- 学校
- + 病院・診療所
- ◇ スーパー・商店

出典:平成22年度国勢調査人口

常陸大宮市区区域图



〈現行〉



〈再編後〉

